

責任者の草桶会員：奉仕活動にはクラブ奉仕から始まって職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕の五大奉仕があるが、この不景気のさ中、クラブに入っていてありがたいと思うし、入っているのでクラブ奉仕はできる。奉仕というのは、クラブで一週間に一回顔を合わせながらしゃべっていくことが奉仕活動の原点になると思っている。

三田村会員：奉仕というのは、社会と恵まれない人のためにいろんな気持ちや心や体・力や、財力・お金・物品などを施す、費やすということがロータリー活動の奉仕の原点であるが、その心には思いやりの心がなかったらそれはだめであるという。体を使って奉仕をするときは誠心誠意をもってしなければ本当の奉仕ではないし、お金を出す奉仕では、そこに思いやりの気持ちがなければそれは単なる施しで極端に言うと乞食に渡す施しと同じでそれであってはならない。それがロータリーの奉仕の原点であるとは昔から言われている。一番大事なことは出席することである。これがロータリー活動の原点である。いつも会っている皆さんはずばらしいロータリアンであると申し上げる。

竹内会員：昔は経済的にも良い時期で、奉仕活動も結構よくやったが、最近は経済状況も厳しく、日本人も豊かになって奉仕をすることが少なくなった。しかしながら人間関係でつながっていることが良いのかなと思っている。ロータリーに入らなければもっと付き合いが狭くなっていると思うので。その中で奉仕ができればよい。

谷尾会員：ロータリーの奉仕活動が、単年度でも継続年度でも国際ロータリー・RIの決議23-34に基づいてやるのが大切だと考えている。第一条は、ロータリーの人生哲学。第二条は、ロータリークラブの役割。第三条は、国際ロータリーの役割が明記。第四条は、ロータリー哲学が実践哲学であり団体活動をするための条件。第五条は、クラブ自治権について。第六条は、クラブとして実際に奉仕活動をする場合の守るべき事柄が書かれてある。一般の人にロータリーの奉仕理念と実践を受け入れてもらい、自分たちだけで自己満足するような奉仕活動をしてはいけない。

井上会員：現在ロータリーが職業奉仕として高校生を対象にしているなら、もう少し下の小中学生にできるならもっといいと思う。小学生ともなると地域で育てるということもあり、子供たちを見守る活動

3月の例会案内

5日 第1例会行事 ロータリー情報 ガバナー補佐 山口 斎氏	12日 ゲスト卓話 「北陸新幹線について」 福井県新幹線建設推進課 企画主査 堂本大輔氏	19日 夜間例会 「ジョムソン調査隊帰国報告」 18:00~ カプチーノ	26日 休 会
---	---	---	------------

も必要だと感じている。ロータリーとしても子供たちにサポートができるとロータリーの認知度が上がっていいのかと思う。

三村会員：他のロータリーを見ていると地域や小中学生を巻き込んで楽しくやっているように見えるが、うちでもやるのがいいのでは。奉仕活動は思いやりが抜けていると何をしてもロータリアンが遊んでやっているように見えてダメだ。

宇野会員：曹洞宗僧侶の板橋興宗さんの言葉に、「施して語らず、受けて忘れず。」という言葉があります。出来るときにはさせていただき、俺がやったぞとは言わず、逆にわが身が受けるときにはこういう恩恵を受けたことを忘れないということが奉仕かなと思った。常々気になっている言葉があり、職業奉仕を、He profits most serves best. 「最もよく奉仕する者は、最も多く報われる」日本語でこのまま受け取るととんでもないことだと思っている。ぼくはまだ理解していない。

石本会員：長年RCに入っているが、We serveとI serveが未だにわからない話である。入った当初は活動も留学生を受け入れたりして色々なバラエティに富んでいた魅力があったが、今は活動がじり貧状態になり、年々ロータリーの魅力がなくなっていると思う。理念も一般の人には分かりづらい。自分がI serveという考え方を持って生きていけばよいと思う。We serveとI serveが未だに分かっていないのが現実である。

草桶会員(まとめ)：奉仕するのにロータリーが核になり、いろんな人を巻き込んでやった方がいいと思う。60人いると、それぞれに特殊ないろんな勉強をしているが、それが癒合されて武生のクラブになっている。自分がやるとできないこともあって、去年のコウノトリの話ではないが、外部から呼んでくることも大変だけど必要で大きな奉仕になるなと思った。良いことは伸ばし、出て行ってやる時に労力奉仕になるが、やって行くことで会員が増えるのでは。地区大会をやる時、人数を集め、それで、やるということで人が増える。今は入りにくいのではないか。

武生商業高校課外授業

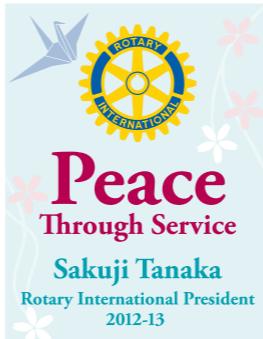


ニコニコ箱 …… 4,000円

○佐々木会長 ○山田 洋三 ○斎藤真理子

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650

2013.3.5 No. 2272



TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

Bridge the Gaps

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

創立/1954年(昭和29年)6月30日

事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館

会長/佐々木忠彦 幹事/河嶋 一 会報委員長/丹羽新吾

第2857回 例会記録 平成25年2月26日(火)

会員総数61名(内出席免除会員7名) 本日出席会員42名

メークアップ(前々回) 9名

出席率(前々回補正) 78.57%

ロータリーソング「四つのテストの歌」

会長挨拶 佐々木会長

ネパールの庶民のトイレ事情をお話させていただきます。一般常識としては右手三本指でご飯などをつまんで上手に食べます。左手は水で用が終わったらお尻を洗います。そのためバケツに水が入っています。その中に手桶がありました。どのように使うか想像してみて下さい。ホテルやレストランでは一般の洋便器が設置されていますから、旅行者にとっては問題がありませんでした。



1980年にTOTOのウォシュレットが誕生して、30数年が経過しました。それまで、日本人には「お尻を洗う」という習慣はありませんでしたが、今や「あって当たり前」という存在にまでになりました。出荷台数1,000万台までには18年かかりましたが、その後3,000万台までには12年しかかりません。昨年3月の内閣府調査によれば、温水洗浄便座の家庭での普及台率は71%にもなります。

開発の経過をご紹介します。第一の壁は、どこにお湯を当てれば良いか、すなわち「肛門の位置はどこか?」ということです。便座に針金を張り、座った時に肛門がきた位置に、紙で印をつけてもらおうと考えたのです。「いくら同僚でも…」と丁寧に断る社員もいましたが、とりわけ女性社員は「恥ずかしい」と嫌がったそうです。開発者に根負けして男女300人以上の協力を得られたと言います。

次の課題は、お湯の温度です。お尻に当たって快適に感じるのは何度か。開発者たちは、お湯の温度を

0.1度ずつ変えながら、お尻にお湯を当て続けたそうです。お湯の温度38度、便座の温度36度、乾燥用の温風は50度が最適という結論を得ました。さてそのお湯をどんな角度で当てていくのか。再度の実験で、角度は43度であることが導き出されました。どんなお尻でもしっかりとお湯が届き、かつ、お尻にぶつかったお湯がノズルにかかりにくいという条件でした。

そのウォシュレットの認知度が、1982年一気に上がりました。タレントの戸川純さんを起用したあの「お尻だって、洗ってほしい。」のテレビCMです。それまで、新聞や雑誌にトイレの広告を載せるのはタブーでした。「トイレ=ご不浄」というイメージで、「掲載すると、品位が落ちる」とまで言われました。テレビで「お尻」の3文字を発するなど、考えられなかったことです。そんな常識を打ち破ります。しかも、初めてのオンエアが、一家団欒のゴールデンタイムの7時。あえてこの時間を狙ったのです。

初回オンエアの日。キュートで不思議な雰囲気の戸川さんがお尻を向けるポーズをとりながら、「お尻だって、洗ってほしい。」と訴えるCMがお茶の間に流れました。衝撃的でした。早速宣伝担当部署には「食事時に便所の宣伝とは何事だ。」の苦情殺到。担当者は「皆さん、今食事をされていますが、それと同じくらい排泄も尊い行為です。ウォシュレットは暮らしを快適にする商品です。」と説明しました。1ヵ月後には、CMに関するクレームは無くなつたそうです。今日の一言:「人間は負けたら終わりではない、辞めたら終わりなのだ。」リチャード・ニクソン

プログラム 炉辺会合報告

テーマ「奉仕活動について」

第3班 責任者:草桶栄治会員

発表者:三村昌之会員

出席者:三田村久治会員、

谷尾会員、竹内紀昭会員、

石本会員、宇野会員、井上会員

